

# 宇靈羅

岩泉町立岩泉中学校  
P T A 広報  
第 68 号  
令和 3 年 8 月 19 日発行

## 喜怒哀楽が出せる人間に

P T A 会長 佐々木 忠明

コロナ禍の今、昨年度の会長同様、こっそり P T A 会長になりました。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

子供たちは、心から笑う、泣く、怒る、悲しむといった、心の中から湧き出す感情を、自然に表現できているでしょうか。心の中で抑え込んでいないでしょうか。喜怒哀楽は、相手に対し感情を伝える基本的なものであると思います。友人関係、先生と生徒の関係、親子関係等、本物の人間関係を築くには、容赦ない喜怒哀楽の応酬が必要であり、何でも言い合える深い絆の構築に繋がるものだと思います。

保護者、教職員の皆様には、既にご迷惑をおかけしておりますが、子供たちが豊かな感情を表現し、成長できる雰囲気を作れるように、少しでも作れればと思っています。どうぞご支援、ご協力をお願いし、あいさついたします。

## 通ってよかった学校、通わせてよかった学校を目指して

校長 鈴木 雅孝

ある週末、学区内の小学校を車でまわってみることにしました。気軽に出発したものの、だんだん道幅は狭くなり、ガスもかかってきました。対向車とのすれ違いに冷や冷やししながら、「本当にこの先に小学校があるのだろうか」と不安になりましたが、なんとか目的を達成することができました。

生徒たちはこんなに長い道のりを通学しているのかと今更ながら驚きました。自宅が近い場合も含め、生徒たちは頑張って登校してきます。保護者の皆様は子供たちを学校に送り出してくださいます。これは大変なことで当たり前ではありません。このような思いを受け止める学校は、「新しいことが分かりできるようになる場」「心身ともに安全で安心できる場」「友達との関わりを通して感動や喜びを得る場」であること、そして「人として大きく成長する場」でなければならぬと強く思います。

生徒たちにとっては「通ってよかった学校」に、保護者の皆様にとっては「通わせてよかった学校」となるように、本校教職員一同、力を合わせて努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

令和3年度 体育祭スローガン

は や て  
破 矢 子



体育祭の感想

森山 幸代（1A 悠希）

五月にしては厳しい暑さの中、初めての体育祭が行われました。

中学生になって約一ヶ月、新たな環境に必死に慣れながら、帰宅後も応援歌を口ずさむ姿に当日も楽しみだなと思っていました。

いざ当日、厳しい暑さに倒れなければいいなと心配したのも束の間、それ以上に熱い子ども達の姿がそこにはありませんでした。何よりも圧倒されたのが応援合戦でした。決して人数が多い訳ではないのに、団長を中心として一致団結した声が校庭に響き渡った時、鳥肌が立ち涙が出そうになりました。体育祭まで時間の少ない中、先輩方に教えてもらいながら様々な事を覚え、こなしていくのは本当に大変だったと思います。その中で素晴らしい成長を見せてくれた子ども達は本当に誇らしく、それを見ることができたのは本当に幸せなことだなと思いました。

これから子ども達の成長を見守りながら応援していきたいと思っています。

体育祭の感想

鈴口 恵子(二A 巧真)

昨年は、新型コロナウイルスの影響で体育祭実施が危ぶまれる中、無観客での開催となり、親としては少し残念な気持ちでしたが、今年、体育祭実施、観戦できた事は何より嬉しく有難く思っております。

私にとっては、四人の子供の末っ子、十回目の体育祭の観戦ですが、五年ぶりということもあり、ドキドキ、ワクワクしながら見させていただきました。

生徒数も年々少なくなり、練習時間、準備時間も少ない中での活動はとても大変だった事でしょう。

体育祭当日、二年生の団結力、失敗しても励まし合い、自分達の事だけではなく、相手も応援する姿、子供の成長を感じました。感動し、目が熱くなりました。

この体育祭で培った沢山の事は今後の活動にも生かされる事と思います。これからも子供達の成長をドキドキ、ワクワクしながら見守り、応援していきたいと思えます。

青軍スローガン

らんき りゅうそう  
乱騎龍走



体育祭の感想

細工藤 泰子(三A 百花)

コロナ禍で最後の体育祭がついにやってきてしまいました。昨年は「無観客。」今年もかなと、残念に思っていました。

毎日、学校から帰ってきた娘は、得意そつに応援歌を口ずさんだり、競技の練習が上手くいかなかったと落ち込んでいたり、係活動(活動中に先生方が、進み具合を子ヨコ子ヨコと顔を出しに来てくれ、声をかけてくれていたそつで・・・)の様子を話してくれていたので、(観に行きたい気持ちが倍増され)「開催します、観にきて下さい」の便りにほっとすると同時に、大変嬉しかったです。

短期間で、各々役割分担をこなすの種目も完成されていたと思います。両組団とも一つにまとまる姿、本気で取り組む様子を観る事ができ、また子供の成長を実感し、幸せだなと感じました。

三年生にとって残り少ない学校行事&生活、思い出に残るページを刻んでほしいと思います。

# 中総体を終えて

## 卓球部

卓球部は、3年生5名、2年生5名、1年生3名で活動しています。今年の中総体はどうなるのかと思っていましたが、一人の選手に対して一人の観戦ができるとの事でしたので、見る事ができました。3年生にとっては最後の大会。悔いのないように戦ってもらいたいと思っていました。思うようにできなかった事もあったとは思いますが、みんな1つになって戦うことができ、団体戦では見事に3位に入賞しました。

3年生は3年間、5名の仲間と共に汗を流し、一生懸命頑張ってきたと思います。思うようにいかない日もあったかと思いますが、しかし、仲間と助け合い、声をかけあいながら過ごしてきたと思います。それは自分たちの宝物です。この先も失敗をおそれずに頑張ってもらいたいと思います。1、2年生には、目標を高くかかげて頑張ってもらいたいと思います。(栂田浩子 3A匡悟)

## サッカー部

人数の少ない中、どの生徒も日々の練習を頑張ってきたことと思います。

中総体では、結果として県大会に遠く及びませんでした。どの親も試合結果だけを求めていたわけではありませんが、練習の中、試合の中から子供達の成長を感じ取れたことが何よりも嬉しかったです。

そして試合中も決して諦めず、チーム一丸となって頑張れたことを誇りに思います。

これからも、きっと楽しいことばかりではないはず。そんな時はチームメイトの顔を思い出し乗り越えてほしい、そう思います。

最後になりますが、顧問の先生、コーチ、保護者の皆様に心より感謝を申し上げます。(池元健 3A祥真)

## バスケットボール部

「強くなりたい。」そう思いながら部員みんなで日々練習し臨んだ中総体。結果として、勝つことはできませんでしたがそれ以上に成長することができました。

バスケ初心者で1年生の頃は本当にやっていけるのかと心配でしたが、今となれば、バスケが大好きで今でもバスケがしたいと話しています。こう思えるのも3年間ずっと練習してきた仲間がいる事、今まで支えてくれた後輩、先生方、コーチのおかげでもあります。今までご指導頂いた翔先生、小田島先生、今村コーチ本当にありがとうございました。今後のバスケットボール部の活躍に期待しています。(佐々木尚美子 3A星南)

## 文化部

文化部は、横井智子先生のご指導のもと、スローガン『技術向上』を達成するために3年生6名、2年生7名、1年生3名で学年・男女関係なく和気藹々と活動に励んでいます。

主な活動内容として、体育祭や文化祭のポスター製作、校内に掲示する中総体の応援ポスター製作、そしてコンクールに出品する作品製作等取り組んでいます。

今年度は、中総体に出場する皆さんへ活動の願いを込めて、各部をモチーフにしたマスコットを製作して応援しました。

各運動部のように表立った部ではなく活動を目にする機会も少ないですが、一人一人個性を生かし一生懸命作った作品が、多くの方の興味・関心を持つきっかけになったら嬉しいです。(林崎恵利子 3A紗來)

## バレーボール部

6人の可愛い選手たちへ

岩中バレー部は6人で地区中総体を戦い抜き、県大会出場を果たしてくれました。君たちの頑張りに、保護者はみんな感動しました。県大会は1回戦で敗れはしましたが、君たち6人のルックスは県大会優勝です!!しかも断トツ(笑)、よくこれだけのメンバーが揃ったものだと感心しています。お父さん連中はさておき、お母さんたちに感謝しましょうね♪

部活を卒業する3年生は、これからそれぞれの進路を歩むことになると思います。ときには苦しいと感じることがあるかもしれませんが、部活で培ったものが君たちの糧となっています。未来に向かい突き進んでください。部活に残る3人の後輩も含め、保護者はこれからも君たちを応援しています。

さて、最後になりますが、保護者の皆様には感謝の言葉しかありません。本当に良いメンバーで、楽しく子供たちを応援することができました。ありがとうございました。

また、顧問の山根先生、田村先生をはじめ学校関係者の皆様、可愛い子供たちをよく導いてくださいました。心より感謝を申し上げます。(工藤健二 3A香雪)

## ソフトテニス部

ソフトテニス部は、3年生8名、2年生4名、1年生2名の14名で活動してきました。

全員テニスの経験はほとんどなく、ゼロからのスタートで苦労したことも多くあったとは思いますが、顧問の先生方、コーチの皆さんの手厚いご指導のもと、プレーはもちろん、心も身体も大きく成長できたのではないかと感じています。

そして、3年生にとっては集大成となる地区中総体。惜しくも目標としていた県大会出場とはなりませんでしたが、これまで仲間と共に切磋琢磨し部活動に取り組んだ事、時には悩み、悔しい思いをした事、すべてが有意義な経験となり、実りあるものになったと思います。ここで学んだ多くのことを活かし、3年生は次のステップへ、1、2年生は、部活動に一生懸命取り組み、良い結果を残せるように頑張ってもらいたいと思います。

今後のソフトテニス部の活躍を期待しています。(佐藤千春 3A心乃)

## 野球部

「君たち～！全然声が出て無いよ～！練習でできないことは、試合でもできないんだよ～！」上田先生の声がグラウンドに響き渡る。子供たちも必死に答えようとするが、なんとも重い空気が漂う。打てない、ミス、負け。

こんな状況が昨年度から続き、このままで大丈夫かなと心配になりながら、冬期間の体力作り、バッティング練習を繰り返しました。

4月、新入部員入部、小川中との合同となり、チームの雰囲気が大きく変わりました。

そして中総体一試合目。どちらが勝ってもおかしくないしびれる試合を制して勝利。準決勝は強豪宮古西中学校。負けはしましたが、3年生最後の試合に相応しい互角の試合展開でした。昨年度からのチームとは思えない声、プレー、試合展開に感動しました。

君たちが次の目標に向かって、どんな結果になっても悔いが残らないように日々努力し、心身共に成長することを期待しています。

最後に、チームを成長させてくれた上田先生、いつも優しい声を掛けてくれた杉下先生、厳しくも優しい眼差しで支えてくれた佐藤コーチに父母会一同、心から感謝いたします。(長崎宗継 3A宗眞)

# 授業参観 4/24



1A 音楽



2A 国語



2B 数学



3A 社会



やまびこ 学活



うれいら 理科



はばたき 社会

# P T A 親子奉仕作業

7/10



〈担当箇所〉

1年生 3階

2年生 1階

3年生 2階

